

学校経営目標：夢と希望をはぐくむ学校

教育目標： 考える子 思いやりのある子 やりぬく子

本宮市立本宮小学校

学校だより第 3 号

令和 3 年 5 月 6 日

校長 穂山俊之



本小だより

運動会 (5/15) に向けて

5月15日(土)の運動会に向けて、各学年の練習が始まっています。子どもたちも先生方も、すばらしい運動会にしようと、それぞれ自分ができることを精一杯取り組んでいます。

今年も昨年度と同様に、種目の削減や時間の短縮、来校者数の制限等、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、主役である子どもたちが自分のもてる力を最大限に発揮できるよう、工夫をして開催します。



運動会を行えることに感謝し、PTA・地域のご協力も得ながら、教職員一同、一丸となって当日までの準備と当日の運営を行っていきます。ご不便をおかけすることもあるかとは思いますが、子どもたちへの温かい声援をお願いします。

ご家庭でも運動会に向けての練習の様子や、お子さんががんばっていることについて、団らんの話題にさせていただければ幸いです。

また、これからの時期は、感染症対策とともに熱中症対策についても注意が必要です。予防のため、① 夜は、早く、ぐっすりと眠ること ② 朝ご飯をしっかり食べる ③ こまめに水分補給をすることなどを子どもたちに指導しています。

健康管理についても、ご家庭での話題に付け加えてください。なお、水筒(中身は、水またはお茶)を学校へ持たせることができます場合は、ご協力をお願いいたします。



歯科検診

4月22・23日、歯科検診があり、学校歯科医(のうち歯科クリニック)の野内 学先生に診ていただきました。

歯科検診後、野内先生から「むし歯の子が何名かはいましたが、全体的に治療もされていて、よい傾向でした。」との評価をいただきました。

また、小学校に入学すると、親御さんの「歯磨きチェック」の頻度が減って、むし歯になりやすい傾向があるとお話もお聞きしました。特に小学校の1～3学年時の頃は、乳歯から永久歯に生え変わる時期で、生え変わったばかりの永久歯はまだ柔らかくむし歯になりやすい

といわれます。ご家庭でも、保育所・幼稚園の時と同じようにとはいかないまでも、時々、歯磨きの仕方をチェックしてあげるとよいと思います。

むし歯は、放置した場合、悪くなる一方です。自然に治る病気とは違いますから、できるだけ早く治療を済ませてください。よろしくお願いします。





コミュニティ・スクールが スタート！



4月23日（金）に、第1回学校運営協議会（コミュニティ・スクールの会議）を多目的室で開催しました。

今年度から、本格的に導入されることとなったコミュニティ・スクール。地域やPTA、教育委員会等より構成された、計17名の委員の方々にご協力いただいたのスタートとなります。

第1回目である今回は、はじめに市教育委員会から委嘱状を交付していただいた後で、運営協議会の会長・副会長を決めました。

その後、今年度の活動計画や学校運営の基本方針等について説明し、承認いただきました。

教育の効果を数倍に上げる要素として欠かせないものは、学校・家庭・地域の連携・協力です。

そもそも、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は、年々、複雑化・多様化しており、「学校だけ」「教師だけ」でそれらを解決していくことは、無理な時代となってきたとも言われます。

そういった意味からも「子どもたちの健やかな成長」ということを中心に置いて、遠藤会長様を中心に、学校・家庭・地域がしっかりと手を取り合って子どもたちを後押しし、子どもの持っている力をどんどん高めていきたいと考えています。

今しばらくは、新型コロナウイルスの影響で、制限のある中での教育活動となりますが、できる範囲で取り組んでいきたいと思っております。これからもご理解とご支援をお願いします。



本宮小の自慢のひとつ

4月からの登校の様子を見ていると、列を乱さずよく並んで登校できる通学班が多く見られ、感心しています。

また、多くの班で、1年生に合わせて歩幅を狭めてゆっくりと歩いたり、時折、後ろを振り返りながら、メンバーの状況を確認したりする班長さんの心遣いも感じられます。

これだけでも十分素晴らしいことなのですが、さらに本宮小の自慢できることは、道路を横断した際に、停車してくれた車のドライバーさんに対して、お辞儀をしてお礼をする班長さんがたくさんいることです。



23日に開催された学校運営協議会で、この話をしたところ、停まってくれたドライバーさんにお辞儀をするという行為は、ずいぶん前から続いている「本宮小の伝統」であるとのこと。

これまでの上級生の姿を通して、交通ルールを守ることもマナーも下級生に引き継がれていることが分かります。

お辞儀一つで、それまでは何の関係もない、喋ったことすらない、赤の他人であるドライバーさんと一瞬のうちに心と心でつながる…。とても素敵なことだと思います。

これからも、ずっと守り続けていきたい伝統の、そして自慢のひとつです。

